

こんな絵をかいています^え

ここからは、ぼくがこれまでかいてきた^{さくひん}作品たちや
^{はっぴょう}発表してきた^{てんらんかい}展覧会を^{しょうかい}紹介します。



こんな絵をかいています

ぼくの作品を 紹介するよ



プロレスの技「ドロップキック」を
きめている作品です!

こんな大きな作品をかいたのは初めて。



ドロップキック

2020年

ペン、色えんぴつ/キャンバス

162×259センチメートル



え
絵をかきはじめてたころの作品です。
さく ひん
コンピュータをつかってかいていたよ。



がた
わき固め
ねん
2005年
コンピュータ・グラフィックス

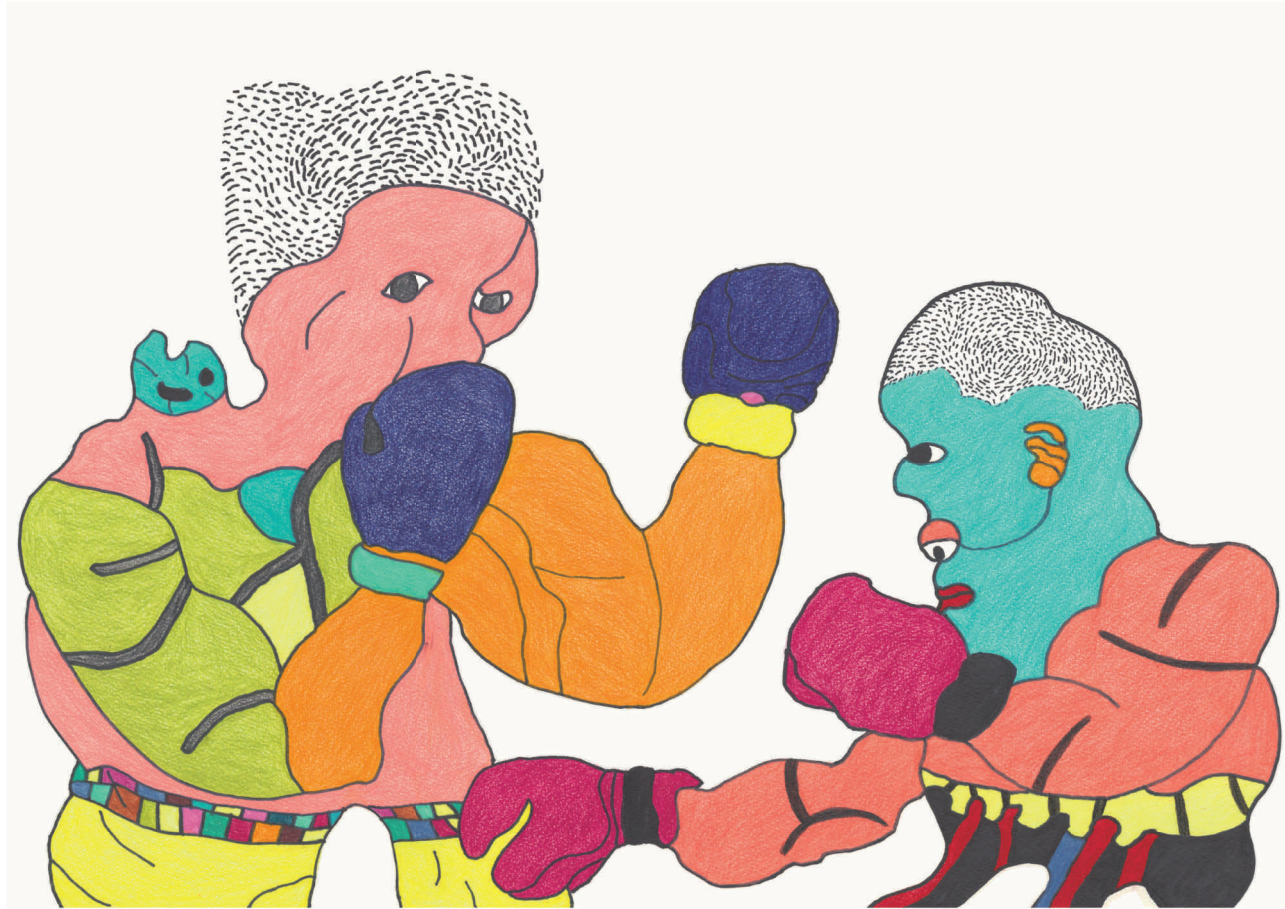
ローリング・ソバット
ねん
2005年
コンピュータ・グラフィックス



ゲレーロススペシャル 2016年 ねん ペン、色えんぴつ/紙 86×177センチメートル

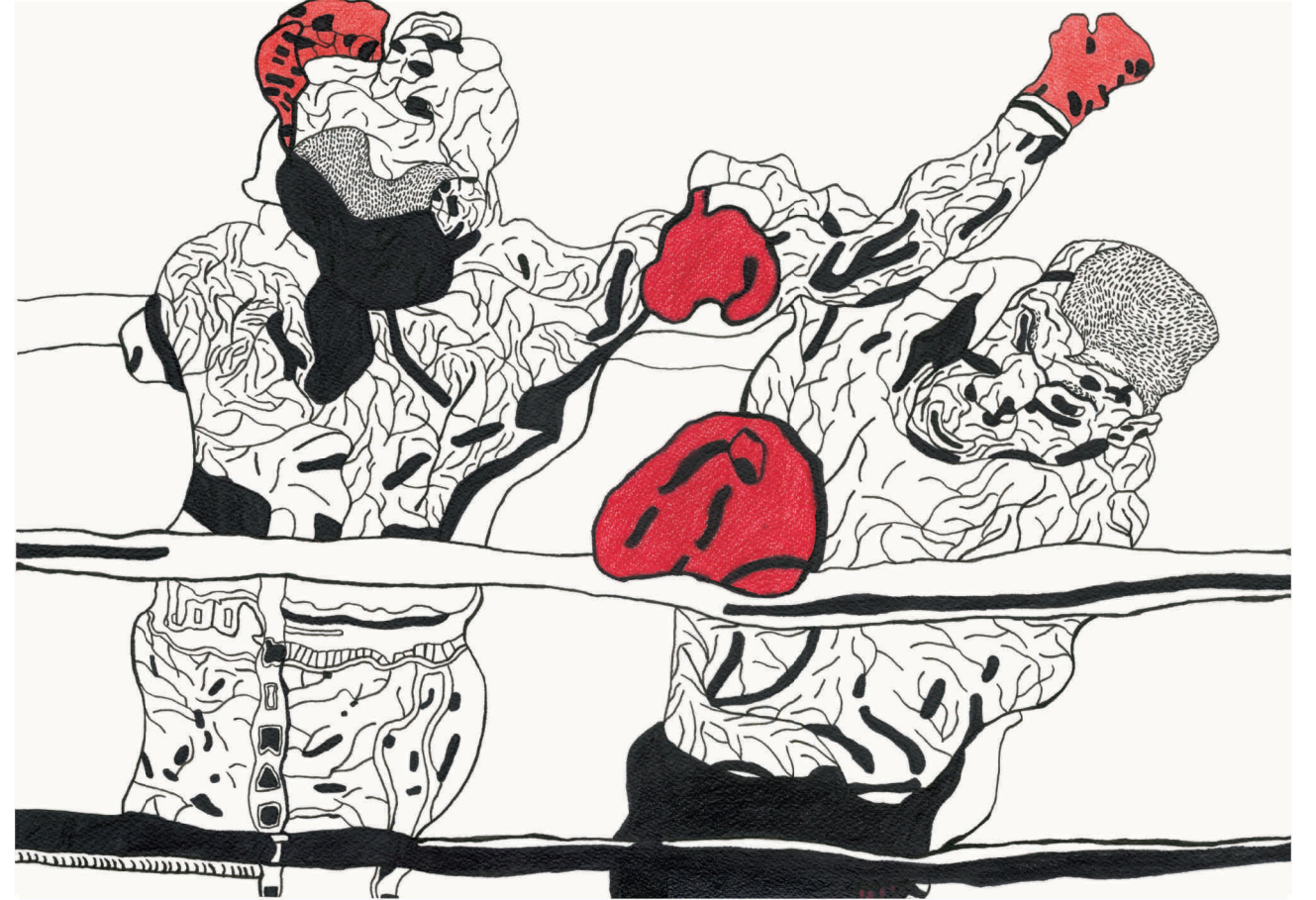
この作品は、アメリカのニューヨークで発表されました。
はっ びょう
たくさんの人に届けることができ、うれしかったです。





右ボディストレート 2006年 ペン、色えんぴつ／紙 42×59センチメートル

ボクシングも好きです。
 たたかいへのぞむ熱い思いがこもった
 「目」からかきはじめました。



スマッシュ 2010年 ペン、色えんぴつ／紙 42×59センチメートル



「東京オペラシティ アートギャラリー」という
 美術館で展示されました。
 作品を通じて新しい人と出会えることが、
 ぼくの喜びです。



はし 走り幅跳び 2020年 ペン、色えんぴつ／紙 73×103 センチメートル



はし 走り高跳び 2020年 ペン、色えんぴつ／紙 86×178センチメートル

パラリンピックとオリンピックの選手が
 いっしょにスポーツをしています。
 こんな風景をみられたらうれしいと思い、
 イメージをふくらませてかきました。

本の表紙にえらばれたよ!





りゅう 龍・へび・ジャンプ・膝蹴り 2021年 ペン、色えんぴつ/キャンバス 146×227センチメートル



ダブルドロップキック 2021Ⅱ
2021年 ペン、色えんぴつ/紙
52×73センチメートル

りゅう
龍が2ひき、へびが1ひき。
どこにいるかわかるかな？



こんな絵をかいています

ここがアトリエだよ

ぼくが毎日絵をかいているのは、「アトリエ インカーブ」というところ。大阪市の平野区にあります。3階建ての明るくて広い建物のなかで、アーティストたちが絵をかいたり、ものづくりをしています。スタッフは、「学芸員」というアートの専門資格をもっていて、作品をていねいに扱ってくれるのがうれしいです。



キューアル
QRコードをよみとると、
動画でアトリエ インカーブの様子がみられるよ！
ウェブサイトもチェックしてみてね。



アトリエ インカーブの スタッフに聞いてみました



アトリエ インカーブには、30人のアーティストが通っています。
アーティストの共通点は2つ。

1つ目は、ものづくりが大好きだということ。スケッチブックにオリジナルのキャラクターをかく人や、自分の体より大きな立体の作品をつくる人、少しずつ色をぬり5年くらいかけて作品を完成させる人。それぞれのペースで、思いのままにもものづくりをしています。



2つ目は、障がいがあるということです。アーティストの多くは支援学校に通っていました。みなさん、日常生活の困りごとをかかえています。たとえば、自分の気持ちを言葉で伝えるにできなかったり、計算や暗記が苦手だったり。でも、アトリエ インカーブでは、それぞれが絵をかいたりものづくりをする才能を活かして、「アーティスト」として活動しています。新木さんのように世界で活躍する人もいますよ。